

鷲(おおとり)神社 酉の市

今年もやってまいりました「酉の市」シーズン
酉の市には大森のアーケード商店街に、ずらりとお祭りの屋台が
ならんで.....それはもう、にぎやかなのです~

今年の日程は以下の通りです！

<一の酉> 11月 7日(日)

<二の酉> 11月19日(金)



酉の市は.....

開運招福・商売繁盛を願うお祭りで、名物は縁起熊手です！！
鷲が獲物をしっかりと捕らえることになぞらえて、運を鷲づかみっ！
「運をかつこむ」熊手お守りになったといわれます。

金銀財宝を詰め込んだ、江戸っ子らしい洒落の利いたこの縁起物を
夢を乗せてGet！してみるのも楽しいかもしれませぬ(^_-)

りんぱだより秋号をお届けいたします。どうぞご自由にお持ちください。(担当:田中・川井)

皆様からのご意見をお待ちいたしております。 lymph_dayori@yahoo.co.jp

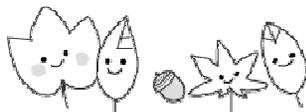
(セルフケアで工夫していること、大森のおすすめ店など.....どしどしお聴かせくださいませ)

学校法人後藤学園附属マッサージ治療室

〒143-0016 東京都大田区大森北4-1-1

TEL 03-5753-3941/FAX 03-5763-8297

2010年10月発行(季刊 年4回発行)



りんぱだより

vol.13

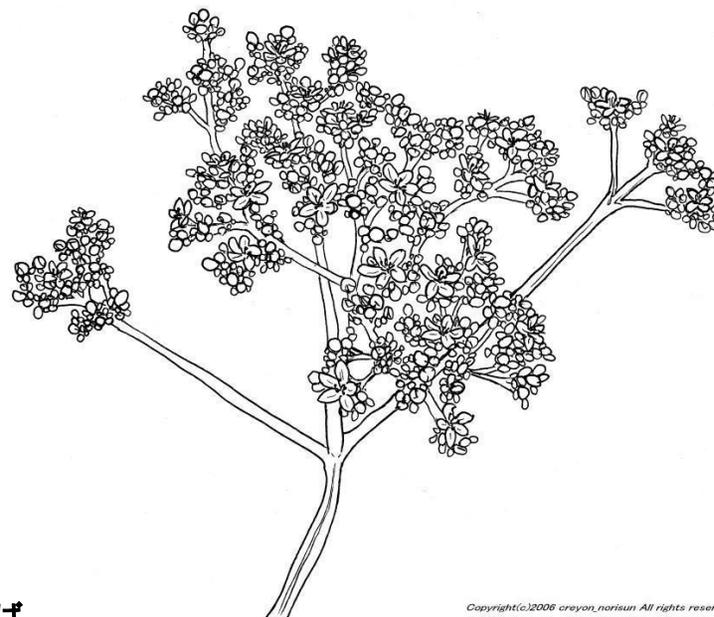
2010秋

日にちと、秋も深まってくる今日この頃

みなさま、いかがお過ごしでしょうか

芸術、読書、おいしいもの.....

秋の楽しみ方はたくさんあって、迷ってしまいます*:.(´`人)



Copyright(c)2006 creyan_norisun All rights reserved

花ことば

おみなえし.....親切、美しさ、心づくし

*ぬり絵としてもお楽しみください

< 冬季休室のお知らせ >

12月25日(土) 午後

~ 1月5日(水)



ドイツ便り

みなさんこんにちは。
マッサージ治療室セラピストの迫佳央里
(約2年半ドイツに留学していました)です!

8月の約2週間半の間、室長代行の田子先生・先輩の打谷先生と一緒にドイツへ研修に行ってきました。

最初に訪れたのが、ドイツ北西部の街・
エメリッヒにある弾性着衣メーカー・

BSN ジョブスト社です。今回、工場見学と商品の説明・特注弾性着衣の採寸方法を説明していただきました。また、弾性着衣の注文・製造・発送の流れなど、皆様の着用する弾性着衣の製造過程を知ることができました。

そのまま140km離れたケルンへ移動し、たまたま街でお祭りが開かれていたので参加してきました。ライブ音楽とビールにソーセージとドイツならではの夜を楽しみました。翌日はケルンの大聖堂を見学しました。やはりケルンの大聖堂は有名なので多くの観光客でにぎわっていました。ケルンとデュッセルドルフはお互いに「うちのビールが一番!」と言い張って対立しているという話を以前聞いたことがあり、今回それぞれのビールを飲んでみましたが、結果としてどちらもそれぞれの個性がありとても美味しく、甲乙つけ難かったです!



その後、黒い森(南西部)に位置するフェルディクリニック(リンパ浮腫患者のための入院施設)のあるヒンターツアルテンへ電車で移動しました。ドイツは街と街の距離がかなり離れているため移動が大変ですが、車窓から見える景色は本当に自然が多く素晴らしいです。

翌日からは、いよいよフェルディクリニックでの研修です。まず患者さんへのセルフバンデージ勉強会の見学から始まりました。フェルディクリニックでは、患者さんが自宅へ戻ってもセルフケアが継続できること、セルフケアの自信をつけて不安を取り除くことを目標にしています。セルフバンデージコースは全4日間で構成されており、導入から毎日少しずつセルフバンデージが上達していく様子をしっかりと見ることが出来ました。またセラピストと患者さんのやりとりの様子も大変勉強になりました。

バンデージ勉強会の後は、治療見学をさせていただきました。セラピストから患者さんの病状や実際に今どんな問題を抱えているという説明をしていただき、実際にマッサージ・バンデージ治療の様子を見させていただきました。フェルディクリニックは経験の長いセラピストが多いため、それぞれの経験をもとに治療を行っています。そのため各々、手技やバンデージの巻き方は多種多様で新しい発見がありました。

フェルディクリニックには世界各国から患者さんが集まってきます。ドイツでは複合的理学療法が保険の適応となっているため入院治療も保険が負担をしている状況ですが、海外からの患者さんは自己負担で治療を受けています。

研修中、フェルディ先生の回診の様子も見学することができました。フェルディ先生は、週に一回患者さんの様子を直接診て、お話する時間を設けています。フェルディ先生が「私達はいつもあなたたちのためにいます」とおっしゃっているのが、印象的でした。

また、運動療法プログラムに参加し、患者さん達と同様に、腕にバンテージを巻いた状態で運動をしました。フェルディクリニックでは理学療法士による呼吸を意識した運動法・椅子を使った運動法やヨガなどゆっくりとした運動療法から、ステップダンス・ウォーキングなど幅広く様々な運動プログラムが組まれています。中には子供の患者さんのための特別なプログラムもありました。

その他、計測・弾性着衣採寸の見学や、栄養士さんのお話を聞く機会もありました。計測は、基本的にクリニック入院時・退院時に行なわれ、周径値・水分量の変化を実際に患者さんへ報告しています。そうすることで患者さんもセラピストもどれだけ改善したのかが一目でわかります。

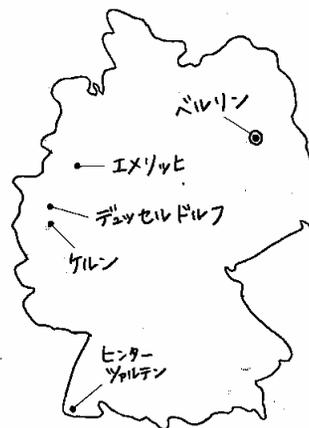
弾性着衣は退院予定日の約9日前に採寸をし、出来上がったものを患者さんに1日・朝から夕方まで試着してもらいます。適切なものに仕上がっているか、医師のチェックを経て、患者さんへお渡しするという形式をとっています。

栄養指導では体重コントロールの必要な患者さんに、栄養士が面接を行い指導が行なわれます。体重の増加は浮腫にも影響を及ぼすことから、朝・昼・晩がダイエットメニューになっている患者さんもいます。また、患者さんの中には心理的に不安定になる方もいるため、いつでも相談できるように、心理カウンセラーがクリニックに勤務しており患者さんをサポートしています。

最後に・・・

研修に行くことが出来、本当に色々勉強になりました。今回のこの経験を日々の治療の中で活かしていければと思います。通訳はとても難しく、まだまだドイツ語を勉強しないといけないという気持ちになりましたが、新たに自分の目標も見つけたり有意義な研修となりました。次のドイツ便りはいつになるかわかりませんが、またいつか皆さんにドイツのお話ができる日が来ることを祈っています。

それではまたお会いする日まで。チュス！！



ドイツビールで乾杯～！

